

[2022 年度以降の成績表示に関する Q & A]

Q.1 成績評語の変更により、GPAの算出方法や数値はどうなりますか。

A.1 算出方法や数値に変更はありません。本学の GPA は、以下の通り、授業科目ごとの 5 段階の成績評価に対して、それぞれ 4、3、2、1、0 の Grade Point を付し、この単位当たり平均を算出しています。今回の変更は成績評語の変更のみであり、5 段階評価の基礎となる 100 点満点の「評点」の区分けは変更されません。従って、2022 年度以降入学生と 2021 年度入学生で GPA の算出方法・数値は同じものとなります。

<本学の成績評価制度（概要）> 網かけ箇所のみが変更箇所です

評価			評点	Grade Point		成績証明書への記載
2022 年度以降入学生	2021 年度以前入学生					
S	A	合格	100～90 点	4	総履修単位数として GPA 算出の際の分母の計算基礎になる	あり
A	B		89～80 点	3		
B	C		79～70 点	2		
C	D		69～60 点	1		
E		不合格	59 点以下	0		なし
F		評価不能	未受験等により評価できないもの	0		
W		履修中止	所定の期日までに履修中止の手続をしたもの	-	-	
N		認定	認定したもの（留学中に修得した科目のうち教授会で認められた科目等）	-	-	あり

<2022 年度以降入学生の GPA>

$$GPA = \frac{(4 \times S \text{ 修得単位数} + 3 \times A \text{ 修得単位数} + 2 \times B \text{ 修得単位数} + 1 \times C \text{ 修得単位数})}{\text{総履修単位数 (E、F を含むが、N、W (履修中止) は含まない)}}$$

<2021 年度以前入学生の GPA>

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{ 修得単位数} + 3 \times B \text{ 修得単位数} + 2 \times C \text{ 修得単位数} + 1 \times D \text{ 修得単位数})}{\text{総履修単位数 (E、F を含むが、N、W (履修中止) は含まない)}}$$

Q.2 成績証明書に記載される成績評価はどのような表記となりますか。

A.2 2022年度以降入学生と2021年度以前入学生で異なります。

【2022年度以降入学生】

修得した授業科目の成績評価はすべてS・A・B・Cとして表示されます。

【2021年度以前入学生】

修得した授業科目の成績評価はすべてA・B・C・Dとして表示されます（2022年度以降に修得した授業科目の成績評価もすべてA・B・C・Dで表示されます）。

Q.3 編入学した学生や、一度退学して再入学した学生の成績評価はどうなりますか。

A.3 編入学・再入学後、当該学生がどの年度のカリキュラムが適用されるかにより異なります。

【2022年度以降のカリキュラム適用が適用された学生】

新しい成績評語（S・A・B・C・E）が適用されます。

【2021年度以前のカリキュラム適用が適用された学生】

2021年度までの成績評語（A・B・C・D・E）が適用されます。